

2014年11月30日

第8回 JCC ミーティング及びカッサラプロジェクトの成果報告セミナーセミナー

2014年11月3日に、水供給人材育成プロジェクト・フェーズ2の最終年次の活動（2014年10月～2015年9月）を説明するための合同調整委員会（Joint Coordination Committee : JCC）が開催されました。この協議では、特に給水施設のモニタリング体制について活発な議論が行われました。

翌日の4日には「カッサラ州基本行政サービス向上による復興支援プロジェクト」の成果報告セミナーが開催され、多くの援助関係機関が出席しました。このセミナーは、カッサラ州で実施中のプロジェクトの内、給水クラスターの成果と教訓を関係機関と共有するために企画されたものです。特にカッサラ州における水道料金改定の取り組みについては関係者から大きな注目を浴びました。

		
第8回 JCC の状況-1	第8回 JCC の状況-2	第8回 JCC の状況-3
		
カッサラプロジェクト セミナーの状況-1	カッサラプロジェクト セミナーの状況 2	カッサラプロジェクト セミナーの状況-3

モニタリング体制構築のためのワークショップ開催

11月2日から6日にかけて、給水施設のモニタリング体制を構築するためのワークショップがセンナール州で開催されました。

スーダンの村落地域では「ウォーターヤード (WY)」と呼ばれる給水施設が一般に普及しています。WYは井戸、共同水栓、水中モーターポンプ、電源装置及び高架タンクが一体となった給水施設を指し、周辺村落住民や家畜に飲料水を提供しています。

しかし、WYの数は広い国土に広範に点在しており、州の水公社では管轄するWYの運営維持管理が課題となっています。そこで本プロジェクトでは、スーダンの村落地域で一般的な給水施設であるWYを対象として、運営維持管理の改善を図るためにモニタリング体制を構築することになりました。

センナール州で開催されたワークショップでは調査項目の確認、点検手法、現場の作業オペレータへの指導事項等が活発に議論され、今後予定されるモニタリングマニュアルの策定に向けたステップとなりました。



第6回ジョイントセミナーの開催

2014年11月27日、北部州水公社において第6回目のジョイントセミナーが開催されました。ジョイントセミナーは2012年より開始された活動で、人材育成をテーマに各州の情報交換を行う狙いがあります。

スーダンでは地方分権化政策のもとで、給水分野は州政府の管轄となっているため、これまで州同士が連携する機会はほとんどありませんでした。かつて中央政府が給水セクターを統括していた時代には州同士の人事交流もあり、技術レベルも平均化していましたが、地方分権化政策以降は、各州の格差が顕在化している現状にあります。

こうした背景のもと、スーダンの給水行政の中央政府機関である飲料水衛生局がイニシアチブをとり、各州の水公社やその他の給水セクター関係者が集まる機会が設けられました。このセミナーでは人材育成についての成果発表を通して活発な議論が展開され、州水公社間における貴重な情報共有の機会となっています。

<11月27日ジョイントセミナー（北部州水公社）>

